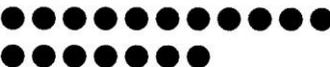


D グループ	古賀 牧瀬 田口 上村 板橋
討議テーマ	②子どもに「たじみ」を好きになってもらうには
<ul style="list-style-type: none"> ・自然は自然（手を入れずに）残してほしい ・豊かな自然を残す ・子どもの記憶に原風景として「多治見」が残るように、積極的に「多治見」で遊ぶ機会を作る ← 親子レジャー ・多治見の自然の中で子どもが遊べるように大人が許容してあげる。そのために自然の危なさを教えるような教育を更に充実させる ・自分の居場所がある 川、公園、広場、建て物 ・ガードレールや歩道橋などさびているところをなくしてきれいな街に 自信、自慢できる場所に、 ・レンタル自転車を各町内ごとに置いてほしい ・子どもが移動するための道路が整備されていないのをどうにかしたい ・子どもが子どもだけで安全に移動できる環境があれば思い出を作ったたじみが好きになるのでは？ (例えば自転車専用道路整備) <p>ガサガサ体験など楽しそうなおところがあっても子どもが自分たちで行けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛称、キャラクターの案つくる ・観光地の施設、イベント充実 ・自慢できるものがある 物など、自然、イベント、食べ物でも ・子ども幼少～18才までにかかなりの幅があり、・幼少 2～6才（提案要行）お絵書等（会） ・小学校～中学校 7～15才（提案要行） 高校以上 16～18才（提案要行） 	
まとめ1欄 ・子どもが子どもだけで安全に移動できる環境を整備 (具体例に自転車専用道路、レンタル自転車)	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●●●●●●●●●●●●●●● ●●●●●</p> <p style="text-align: right;">15</p>
まとめ2欄 ・子ども参加型（楽しめる）まちおこし	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●●</p> <p style="text-align: right;">3</p>
まとめ3欄 ・自然や子どもの居場所を残す増やす	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●</p> <p style="text-align: right;">2</p>
残したい意見 ・街の美化（老朽化したガードレール、歩道橋etcの補修)	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">6</p>

E グループ	今井梓補 渡邊美奈子 藤井英雄 名取一彦	
討議テーマ	②子どもに「たじみ」を好きになってもらうには	
<p>多治見の自然、歴史的な所等を子どもたちに発見させる。 多治見は別に好きとか嫌いとかじゃない。 交通の便が良くなって欲しい。</p>		
<p>近所に危険な場所があると嫌いになる。 駅にヤンキーとかいない町。</p>		
<p>子どもだけで買い物ができる所が近所がない 買い物をするにも子どもだけで移動しにくい。(近くにない) オシャレ商業施設があるべき 市民プールがあると良いのでは 子どもが自分で動くことが出来るように 地域による子どもに対するイベントを広く(地域とは各区及び町内) 子どもの自立心を促すようなイベント(子ども同士だけで行きたくなるような) 最近、花火がしょぼくなった</p>		
まとめ1欄 近所に危険な場所と人がいない安心な街	●●	投票 2
まとめ2欄 子ども達だけで行きたくなる場所やイベント	●	投票 1
まとめ3欄 子ども達だけで移動できる安心で分かりやすい交通手段が欲しい	●●●●●	投票 5
残したい意見 自慢できる花火大会にしてほしい。	●●●●●	投票 5

A グループ	中村 渡辺 鈴木康 牧瀬 藤井
討議テーマ	③子どもが安心して生活できる地域にするには
ジュニアリーダークラブの広報 ・子ども会はあっても連合会に登録されていないものが多い。 ・ジュニアリーダークラブをはいるための情報があるといい。	
子ども110番 ・子ども110番の機能を拡充させる ex. ばんそうこう貼る、傘貸す	
安全な歩道確保 ・交通条件が危険 坂道が多い。 ・車道と歩道がはっきりとしてほしい。 ・地上の横断歩道をもっとつくる。 ・大人が安心できる町になっているか。 ・歩道と車道の区別がない。 ・登下校に対する横断歩道と歩道の整備。(多治見の市道は歩道が少なく、車両主体の道路が多すぎる) ・子どもに危険の認識を教える教育をするべき。(今以上に) ・車道と歩道をしっかり分けてほしい。 ・一方通行を増やしてでも歩道を確保。	
暗い夜道 ・夜道が暗いのをどうにか。 ・街灯が少ない。	
熱中症 ・熱中症対策で水飲み場を増やす。 ・熱中症対策 歩道に日陰をつくる 植栽・軒?など 雪国の雁木のような 名物に	
まとめ1欄 ・安心安全な生活道路 ・横断歩道の充実 ・歩道と車道の明確化 ・適正な街路灯の設置	投票 ●●●●●●●●●● 10
まとめ2欄 ・地域全体で子供を守る。 ・ジュニアリーダークラブを広報し、様々なルールを学ぶ 機会の提供 ・子ども110番の機能を拡充させる (110番委託先の見直し) (ばんそうこう貼り、傘貸し・・・etc)	投票 ●●●●● 5
まとめ3欄 ・熱中症対策 ・水呑み場の確保 ・歩道への日陰を作る (植樹など)	投票 ●●●●● 5
残したい意見 ・あいさつ運動 子どもへのあいさつとモラルの教育 ・子供医療費 医療費・歯科医療の矯正含めて心配を なくしたい	投票 ●●● 3

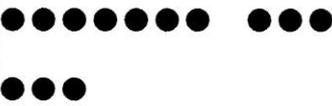
B グループ	若尾奈詞子 相河富美子 田口翼 渡辺美奈子 下野 勉
討議テーマ	③子どもが安心して生活できる地域にするには
<ul style="list-style-type: none"> ・転居してきた方に早く多治見になじんでもらう。→街コン的な？同郷ファミリー集合！シングルファミリー集合！〇〇町集合 ・（近隣の）同士が信頼できるようにする 子ども会などの入会の促進 ・ききょうバス 子どもはタダ → 安全なのりもの ・市バス（通勤バス）の利用度はどうなっているか 子供の利用度、子供が利用できないか。 ・街中に歩行者用の地図設置 ・観光地にあるような立看板地図ひらがな、色付でわかりやすいように ・気がるに道をたずねられる人がいるとうれしい 話しかけやすい雰囲気 of 補導員みたいな人 ・子供たちを拘縛することなく自由に行動できるように地域どうしの横のつながりを密にする（親、地域のセーフティネットを充実させる） ・大声を出す訓練 	
<ul style="list-style-type: none"> ・こうぼう様のような子供と大人が顔を合わせられる行事 ・学童を駅付近に市営でつくってほしい。 ・学童保育的なものをもっと利用できないか。 ・災害時、通学路のキケンかしょを教える。→ハザードマップ（子供用） ・災害時通学路の見まわりを大人がする。 ・退職世代の人々時間があるので、パトロール隊に多く参加してもらおう。 ・散歩がてらの見守り隊 タスキやボウシでわかるように ・協力者に子供の帰宅時に家の前そうじをあえてしてもらおう 	
まとめ1欄 <ul style="list-style-type: none"> ・子供が安心して自由に多治見市を移動できる為に ・ききょうバス子供は無料化。親、地域によるセーフティネットを整備 ・街中にわかりやすい（ひらがな表示等）地図の設置 	<p style="text-align: right;">投票</p>  <p style="text-align: right;">18</p>
まとめ2欄 <ul style="list-style-type: none"> ・親同志が信頼しあえる関係をきづくために（親同志が信頼し合えば子供は安心して出来る為） ・同郷ファミリーの街コン ・シングルファミリーの街コン ・〇〇町の街コン（多治見市主催） 	<p style="text-align: right;">投票</p>  <p style="text-align: right;">5</p>
まとめ3欄 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の安心の為に 災害時のハザードマップ（子供用）の作成、配布 タスキやボウシをつけた見守り隊 	<p style="text-align: right;">投票</p>  <p style="text-align: right;">1</p>
残したい意見 <ul style="list-style-type: none"> ・大声を出す訓練 ・学童を駅付近に市営でつくってほしい。 	<p style="text-align: right;">投票</p>  <p style="text-align: right;">7</p>

C グループ	板橋 古賀 青山 鈴木
討議テーマ	③子どもが安心して生活できる地域にするには
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と関係をつくれたら遊びや勉強をおしえてもらえる場をつくる 何か市が補助する ・子供が少ないので子供会のかつどうがいきないところはみんなではいひん回収をする ・あいさつの日をつくる 地域の人にある時間帯に外に出てもらって（地域行事の前後でも可）地域の人とあいさつや握手 自己紹介→スタンプ集める。 監督者 親or上級生 ・子供会、少子化で子どもの数が少ないなら地域別で幅を広くまとめる 小、中、高と集まり ・星空観察会（地域の場所で） ・キャンプ（街の公園等活用で調理など含め） ・春、夏、秋、冬（各祭りの開催） ・近所の人たちと顔見知りになる → 大人が目をかける 変化に気付く 子どももたよる ・子供が地域の人達に声をかけて顔なじみになる ・老人→子供会行事への参加する機会をつくる機会をつくって欲しい 	
<ul style="list-style-type: none"> ・時間を決める 安全を見守るパトカー隊 リタイヤされた方が対称で 夕方16:00~18:30位 ・時間ごとにみんなで大人がパトロールする。 ・子供100当番のようにいつでもよっていけるようなところをつくってほしい ・朝子供を送るためにボランティアさんがたくさんたっていて安心して学校へ行かせられる ・町内会街灯や自転車専用道路の整備 調査アンケートをとる ・防犯、安全のためにお年寄りの方たちの協力があると非常にありがたい ・安心（地域で） 防犯ブザー 子供がいる様な物で全てに配布（無料ならありがたい）学校などの運営費の中で ・GPSを子どもにもたせる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・街灯などの設備をつくる際の基準を市に決定してほしい。 Exアンケート 署名を何人分あつめる ・暗いところが多いので子供達のあめに街灯をつけてほしい たのみにくい市がつけて ・大原の七まがりの通がくろの七まがりの階段をなおしてほしい 	
まとめ1欄 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人との交流の場を作る (具体例) あいさつ、スタンプ式カードなどの活用、及び廃品回収作業の 実地（子どもを含め）遊び等を教えてもらいたい 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●●●●●●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">10</p>
まとめ2欄 <ul style="list-style-type: none"> ・見守隊の充実 (具体例) 地域のパトロール、子ども110番で気軽に寄れる場所を作る 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">6</p>
まとめ3欄 <ul style="list-style-type: none"> ・子供と街の設備と備品の整備 (具体例) 夜、暗い場所への街灯の追加設置、子供への防犯 ブザー等の全員 配布（無償で）GPSなど・・・ 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">7</p>
残したい意見 <ul style="list-style-type: none"> ・街灯設備の充実 (市への要望) 通学路の調査と整備（場所 大原町 七曲り） 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p style="text-align: right;">0</p>

D グループ	名取 今井 林 谷本
討議テーマ	③子どもが安心して生活できる地域にするには
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業参観に父兄でなくても参加できるように。 ・近所のおじさん・おばさんとは顔見知り ・大人が地域の子どもに関心を持って仲よくする。(その延長として授業参観などに父母でなくても行けるように) ・顔みしりになれば大人もその子が気になって安全に注意するようになる。顔みしりになるために授に誰でも行けるように。 ・近所の人のチームワーク 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「相手より先にあいさつしよう」運動 ・可児の人のようにあいさつできるといい 標語 キャンペーン ・挨拶をする さりげなく目線を合わせ ・子供と話しをする時は目線の高さを合わせる(しゃがむ) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・大人子供共、人に迷惑を掛けないマナー 道徳教育 しつけ ・人に迷惑をかけない 最低マナー集の作成多治見市版 ・気持ちよいマナー運動 ゆずりあい 	
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の乗り方(ルール・マナー)を充分指導する ・危険な具体例の指導 ・安心して自転車に乗れるように交通ルールを人形劇などで教える ・人形によるリアルな疑似体験 ・人に迷惑をかけず、自分の身も守れるルールやマナーの指導。(自転車の乗り方、歩道の歩き方など) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・子供が外(公園や家の前の道路)で遊べる ・子供がさわぐことに対して大人が寛容でいられるように。 	
まとめ1欄	投票
・相手より先に目線を合せてあいさつをしよう運動の実施	●●●●●●
	6
まとめ2欄	投票
・人に迷惑をかけず、自分の身も守れるルールやマナーの指導。(自転車の乗り方、歩道の歩き方など)	●●
	2
まとめ3欄	投票
・大人が地域の子どもに関心を持って仲よくする(その延長として授業参観などに父母でなくても行ければ・・)	●●●●
	4
残したい意見	投票
・子供自身が、自分で自分の安全を考え、判断するような機会をつくる。大人に対する講座を行う。	●●●
	3

E グループ	上村 小栗 澤田 高木 岸
討議テーマ ③子どもが安心して生活できる地域にするには	
残したいイケン <ul style="list-style-type: none"> ・社会実験を積極的に行い改善の可能性を探る ・小学生にキッズケータイを市からくばる ・小学生 週1日でもいいので5:00帰宅が全家庭できるといい ・子供に対して育てやすい環境や補助の充実 	
まとめ1 通学路に関して <ul style="list-style-type: none"> ・学区割りの見直し ・通学路の見直し ・通学路の見直し 又は見守隊等のボランティア 人家のない所等 ・通学路、子供の行動ハンイのハザードマップを作る (先生、子供、親) ・校区の見直しや通学路の見直し 	
まとめ2 環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山道の草や木がしげるので切ってほしい ・遊んでもいいよマークの設置 ←→ 進入禁止の逆の発想 ・夜への心配を減らすため電灯をふやす ・自動車などの対策 かねてこういう道路を作る (狭さく、クランクと呼ばれる手法) ・子供が利用できる自転車道路 	
まとめ3 近所の目 <ul style="list-style-type: none"> ・近所に関心を持つ ・昔は上着を着ていない人がいても何とも思わなかった (ぬいでいる人もあついで) 今の子にしてみると不審者 ・みまもる会の人へのお礼の気持ちがあると気持ちよくやっていただけるのではないか ・話しはもどりますがやはり働く所がないので、他に出ていってしまうので、子供がへって来て友達作りが上手に出来ない ・子供の下校時間に、どこかの家の人が外に出て見守る様にする。 	
まとめ1欄 通学路の見直し (校区・学区の見直し) (見守り隊) (ハザードマップ作成等)	投票 ●●●●●● 6
まとめ2欄 環境の整備 (樹木のメンテナンス) (自転車・歩行者道路の区別) ("遊んでいいよマーク"の導入、電灯増等)	投票 ●●●●●●●● 7
まとめ3欄 子供への見守り (見守る方々へのお礼) (下校時間に合わせた見守り) (安全情報の親子間の共有)	投票 ●●● 3
残したい意見 社会実験の実施 (GPS機能付等のケータイを小学生に配布等)	投票 ●● 2

A グループ	上村 相河 中村 若尾
討議テーマ	④私たちは地域の子どもを健全に育てるために何をしたらよいでしょうか
1	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ+αでほめる!! →「大きい声だね」「元気だね」 ・中高生の声かけ 自転車の子がよけてくれた時など、ちゃんとお礼を言う。 ・地域の人(他人)の助けや注意 ・親が地域の人達と親しくする ・まずは声かけ ・子供目線で話しながら健全な心の広さの中(交際中?:河地)に話す。 ・親と子がゆっくりと会話をする時間をつくる。 ・集まり等に参加したら何をしたのか等をゆっくり話を聞く時間をつくる。 ・子供の心からの声に耳を傾ける。しっかり話を聴く!!
2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から帰って1人の子を親が戻るまであずかってあげる。(難しいけど・・・) ・親同士のコミュニケーション ・他人の子も自分の子と思えるように、大人が心がける。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・未成年は酒を飲まないタバコをすわない→家庭内で徹底指導 ・駅前で集うやんちゃな子 警察に協力してもらうように言う。 ・親が良い事も悪い事もどっちも教える 実体験を・・・ ・子どもの集まりに参加させる。(心の教育として) ・子供会に入る子供会の手伝いをする→子供→ジュニアリーダー→インリーダー 遊びが健全なので非行にはしらず健全と思う。
まとめ1欄 子供の気持ちになって声かけをする。 ほめる・子供の話をしっかり聴く	投票 ●●●● 4
まとめ2欄 親同士がコミュニケーションをとり、他人の子も自分の子と思えるように心がける。 例) 学校から帰って1人になってしまう子を親が帰宅するまであずかる等	投票 ●●●●●● 5
まとめ3欄 親が実体験をもとに、良い事・悪い事の両方を子供に教える。	投票 ●● 2
残したい意見 ・心の教育として、子どもの集まりに参加させる。 ・子供会に入る。ジュニアリーダー・インリーダーなどの経験から健全に育ってくれると思う。	投票 ●●● 3

C グループ	名取 今井 牧瀬 下野 岸
討議テーマ	④私たちは地域の子どもを健全に育てるために何をしたらよいでしょうか
①【コミュニティ 非専門的】	
<ul style="list-style-type: none"> ・何でも聞けるもの知りおじさん・おばさん ・地域の子どもたちに少しでも関わっていったらどうか（昔の遊びなど）おしえ遊ぶ ・愛情深く見守る ・小さなコミュニティでの日常活動 ・自分の悩みを表現できない子がいたりする ・子どもの自主性を重要視する大人の対応 ・みんな一緒に同じことになることが健全ではなく、1人1人が太く生きられること 	
②【子どもへの支援体制 専門性あり】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる寺子屋運営→（リタイヤ世代、現役高校生、大学生）によるもの ・ボランティアバンク（得意分野を登録して地域で教えあう） ・習い事への補助金 ・カウンセラーと共に、犬（セラピードッグ）をつける ・親の所得に関わりなく子どもが望むことをさせてあげられる環境。楽器や道具の（無料か低額）（市民）バンク ・基礎学力を確実につける。学校での居残り勉強など復活 ・心理カウンセリング→子供が気軽に相談できるもの←この人に相談しても無駄と思う人に、「何か悩み事ある？」と聞かれても言いたくない 	
③【親へのケア】	
<ul style="list-style-type: none"> ・心に余裕が無いと健全な心も生まれない ・親の余裕。親の駆け込み寺をつくる ・育てる我々にも余裕がないと他人に関われない ・健全とは何か、余裕と裕福な家庭しか子どもは育たないのか ・民生委員等による定期的な家庭訪問→親のため？ 	
・子どもの居場所作り→ジュニアクラブ等の、半強制参加 議論をできる場所作り	
【周知】	
<ul style="list-style-type: none"> ・tajimistへ子どもへの情報を載せても子どもは見ない ・子どもへの支援情報はカードにして学校で配布するのが良い 	
まとめ1欄 ・地域の中で親、先生以外の大人（非専門職）と接する場所づくり 例) 何でも聞けるものしりおじさん、おばさん、常駐読み聞かせ	投票  1
まとめ2欄 ・大人が得意分野を生かして登録し地域で教えあう、物品を貸す。 例) 楽器や書道の道具、寺子屋 大学生、カウンセラーなど専門的知識を活用する	投票  13
まとめ3欄 ・育てる親へのケア 例) ・民生委員等による定期的な家庭訪問 ・親の駆け込み寺	投票  5
残したい意見 ・子どもへの支援情報は学校で配布する(tajimistは見ない) ・ジュニアクラブへの強制加入 ・おもいっきり遊べる環境を、大人が作る→土岐川観察の様だ	投票  1

D グループ	高木 小栗 鈴木康 鈴木勝 渡邊
討議テーマ	④私たちは地域の子供を健全に育てるために何をしたらよいでしょうか
<ul style="list-style-type: none"> ・アイサツ励行の日を決めて、その日の朝に放送を流して徹底をする。 ・大人のあいさつ返しをスタンプ制度へ ①子供あいさつ → ②大人あいさつ返し=スタンプカード提出 → ③子供がスタンプを押す → ④集めれば粗品 ・多治見は転入人口が高く、近所付き合いが難しい。 ・スタンプラリーによる子供を見守る大人の目 → 公民館や集会所 ・散歩コースにスタンプラリー（公民館等） ・子供による大人へのスタンプラリーの開催 	
<ul style="list-style-type: none"> ・土日の課外授業を主催 各自の得意分野を伸ばす ・課外授業 土日に開催 市内外 有名人・大学の教授など呼びましょう ・課外授業 専門家を呼んで体験学習をしてもらい、達成感、自分で考える習慣をつける。自信を持たせる。 ・市開催の『子供の職場体験会』で役割をあたえる。責任感の意識付。 ・自分の将来をさがす目的で職場体験を市で主催 	
・非行防止に街の景観向上 われ窓理論	
まとめ1欄 <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ活動の重視（広報放送でのあいさつ励行、大人の見守りあいさつスタンプラリー 公民館集会所等スタンプ押しを子供が担当、粗品付） 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p style="text-align: center;">●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">7</p>
まとめ2欄 <ul style="list-style-type: none"> ・課外授業の実施（土日、市内外、有名人・教授等を招待市開催の「職場体験会」への積極的な市民協力） 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p style="text-align: center;">●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">9</p>
まとめ3欄 <ul style="list-style-type: none"> ・非行防止に街の景観向上（あいさつスタンプカードの応用によるゴミ広い活動の啓蒙） 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p style="text-align: center;">●●●</p> <p style="text-align: right;">3</p>
残したい意見 ききょうバスの運用コース見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ききょうバスの走るエリアの見直し→東鉄の路線バスのエリアは走っていない ・ききょうバスの充実 もっと利用しやすくしてほしいルート・時間等 笠原は週1回月曜日 朝1本のみでした 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p style="text-align: center;">●</p> <p style="text-align: right;">1</p>

E グループ	青山千秋 谷本治 渡辺久美 田口翼
討議テーマ	④私たちは地域の子どもを健全に育てるために何をしたらよいでしょうか
<ul style="list-style-type: none"> ・一人の人間として認める ・親子間で価値観の共有 ・大人が子供を認める。 ・言動を認める ・家庭の中での役割分担をもたせる ・ほめる ・子供にやくわりをやらせる ・本人をみとめてやる ・役割分たんさせる ・大人同士の近所づきあい大切 	
<ul style="list-style-type: none"> ・大人から子供に見せられる様な行動をする ・中高生に下の子供達の世話をさせて上下関係をあたえる ・老人のおもいやり ・勇気をもって注意する ・他人の子供の注意 ・抑制するばかりでなくなぜダメなのかを明確にし、適正なタイミングで教育するよう見直す ・見守る なんでもかんでも規制せず、成行を見守ることも大切 道を違えたら注意する（理解させる） ・予防接取をもっと簡単にうけられるように ・ネットなどのきせいをする（夜中など） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育としておさえつけるかくすのではなくのばす教育をめざす 	
まとめ1欄 <ul style="list-style-type: none"> ・親子間で価値観の共有をし一人の人間として認め家庭の中で役割を与え、出来ればほける （風呂掃除、新聞とりetc） 行政で事例集作成衆知 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">9</p>
まとめ2欄 <ul style="list-style-type: none"> ・大人は子供に観られている。大人のモラル向上キャンペーン 活動実地 全市一斉活動として取り組む 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">7</p>
まとめ3欄 <ul style="list-style-type: none"> ・他人の子供に注意する勇気を持つ 温かい気持ちで見守る、頭から否定しない。 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">8</p>
残したい意見 <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種取をもっと簡単に受けられるようにしてほしい 	<p style="text-align: right;">投票</p> <p>●●</p> <p style="text-align: right;">2</p>

・参加者アンケートの結果（回答率 100%）

参加者に対してアンケートを行い、次のとおり分析結果をまとめた。

設問 1. 参加動機（複数回答）

	2013		2012
テーマに関心があったから	5票	(17%)	(30%)
新しい市民参加型だから	6票	(21%)	(19%)
無作為抽出で選ばれたから	12票	(41%)	(38%)
その他の理由	6票	(21%)	(13%)

コメント

- ・自分の意見が言えるので嬉しい。
- ・特に断る理由もない。
- ・「これって何」が動機、せっかくの機会だから。
- ・市政に対し意見を言えるチャンスと思った。
- ・子ども、老人両方の弱者が暮らしやすい街を作るにはと思った。
- ・報酬があったから。
- ・多治見のことを余り知らない、市政にどのような関わりが出来るか勉強するため。
- ・市民の意見を聴いてみたかった。
- ・多治見について様々な世代の人の声を知りたいと思った。
- ・地域に参加したかった。

設問 2. 市民の声を行政に反映させる手段として適しているか

	2013		2012
適している	15票	(65%)	(89%)
分からない	7票	(30%)	(8%)
適していない	0票	(0%)	(3%)
その他	1票	(4%)	(0%)

コメント

- ・テーマが曖昧でまとめが難しかった。声が行政に本当に届くか疑問。行政が何を聞きたいのかわからない。
- ・意見が反映されると実感できるまでは気付かないかも
- ・適しているとは思わないが、適して無い訳でもない。
- ・もう少し大規模でも良い。
- ・実施例が具体的に明記されてわかることと思う。
- ・駅前の公園の話などもっと早い段階で計画の詳細を知る機会が欲しかった
- ・実行委員も、市民として参加してほしい。
- ・提言が行政にどのように反映されているか情報が欲しい。

設問 3. 具体的な感想（複数回答）

	2013		2012
参加意識が持てた	15票	(47%)	(58%)
参加だけでなく運営にも…	4票	(13%)	(4%)
行政に関心が持てた	6票	(19%)	(38%)
特に変化はなかった	7票	(22%)	(0%)

コメント

- ・テーマによっては協力しても良い。
- ・市政に興味はなかったが、真剣に考えていることを感じた。意識が変わった。
- ・普段は気にしている事も無く、知らない事が沢山あった。
- ・色々な地域・人と話が出来たことが良かった。
- ・基本は挨拶、大人・子どもを問わず挨拶をする。
- ・参画意識を生かす場に参加できてよかった。
- ・市民が多様な意見を持っていることが分かり、もう一度関わりたい。
- ・知らないことが沢山あり、行政に興味を持ちたい。

設問 4. 市が主催する討論に参加したことはあるか

	2013		2012
ある	2票	(9%)	(22%)
ない	21票	(91%)	(78%)

設問 5. 市民参加の試みに今後も参加したいか

	2013		2012
参加したい	6票	(26%)	(32%)
都合が合えば参加したい	15票	(65%)	(68%)
参加したくない	1票	(4%)	(0%)
無効	1票	(4%)	—

設問 6. 謝礼について

	2013		2012
あった方がよい	19票	(83%)	(81%)
ない方がよい	0票	(0%)	(5%)
その他	4票	(17%)	(14%)

設問 7. スタッフとして参加する意思があるか

	2013		2012
参加してみたい	6票	(26%)	(38%)
参加したくない	2票	(9%)	(8%)
分からない	15票	(65%)	(48%)

設問 8. 今後のテーマや街づくりについて

- ・高齢化社会を迎えて
- ・老人福祉
- ・子育てしやすい街・育児に関する事
- ・子ども同士の関係
- ・多治見をどういうまちにしたいか・高齢者が暮らし易い街にするには・学校のあり方(子どもにとっての学校、大人が求める学校の在り方)
- ・少子高齢化社会を迎え高齢者の為の今後を考える
- ・市の都市計画のビジョン(目指す人口、イベントなど)
- ・行政が市民に要望したいボランティア
- ・交通アクセスを良くするには
- ・男女共同参画について・小学校の民主主義・自立と協調性
- ・社会保障・バリアフリー・観光・校区の人数増減調査
- ・未来に続く多治見づくり
- ・介護や老人医療

ご意見、ご要望

- ・2日目長い(疲れる)、2テーマ/日にしてほしい・知らない人と自分の街について話せたことは楽しく良い機会であった
- ・もっと市民が参加できる会議を企画したらよいのではないかと・小中高大と年代別で議論する場があると意見を言いやすい(議論に強い小学生が生まれるかも)
- ・アンケートの選択肢が狭すぎる、どちらとも答えようのないものがある・時間が少なすぎる(1テーマ/日が良い)
- ・参加して初めて知ることが多かった・意義があった
- ・初めは訳が解からなかったがいろんな話が聞けて面白かった
- ・時間が足りない(2~3テーマが適当)
- ・若い世代(2~30代)が少ない・18、19歳も参加してほしい
- ・時間が少ない(テーマが多い)自分の意見をもう少し深く見直したかった
- ・4つのテーマは共通する部分が多く、毎回同じ内容の討議をしている感じ

・新聞記事など

たじみ市民討議会に関する情報は、広報たじみ「Tajimist」に掲載されたほか、新聞などで次のとおり報道された。

市民討議会 7月に開催

多治見市と実行委 役割分担で協定



協定書に調印する水野智恵子実行委員長(左)と古川雅典市長＝多治見市役所で

多治見市民が地域づ「議会2013」が七月六、七日の両日開かれ、有志でつくる実行委員と市が十四日、役割分担を決めた協定書を書き交わした。

討議会は、住民基本台帳から無作為に選ばれた二十歳以上の市民のうち、参加を承諾した約五十人が議論。市への提言書をまとめ、市政の充実に促す。二〇〇九年から毎年開かれており、五回目の今年も「日本一住みやすいまちにするには」をテーマに、子どもと大人の関係や、子どもの安心などを話し合う。

この日は古川雅典市長と、水野智恵子実行

委員長(三)が協定書に「討議を通して、自分められたら」と話した。調印。水野委員長は「たちの町への意識を高めよう」と話した。

市民の生の声、市政に



市民討議会の実施協定を締結した水野智恵子実行委員長(中)と古川雅典市長。左は小池孝治多治見JC理事長＝多治見市役所

多治見、7月に「討議会」

実行委と市、実施協定締結

7月6、7の両日に多治見市で開催される「たじみ市民討議会2013」の実行委員会と市が14日、運営方法や相互協力の内容を定めた実施協定を締結した。

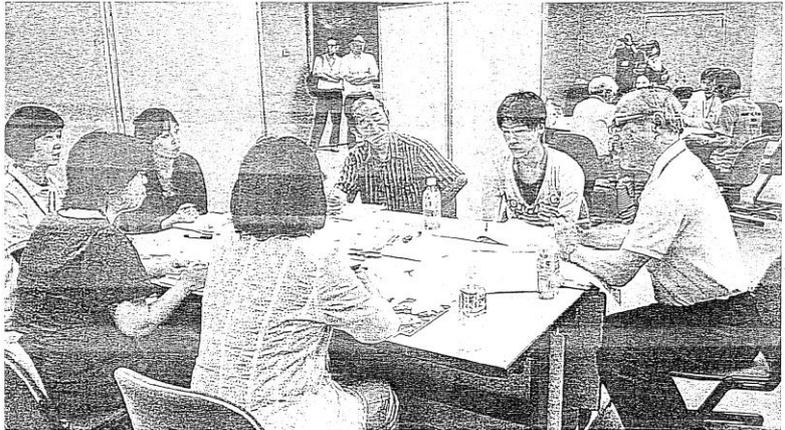
討議会は住民基本台帳から無作為抽出で選ばれた市民が、まちづくりの課題を討議し、意見を提言書にまとめ市政に反映させる。2009年から始まり、今年で5回目。これまで討議会に参加した市民17人がボランティア参加、多治見青年会議所(JC)と実行委を組織し運営する。討議会に参加する市民は、まず20歳以上の1600人を無作為に

今年「日本一住みやすいまち」をテーマにした「たじみ」や「子どもと大人の上手に関わり合うには」「子どもにも『たじみ』を好きになってもいいよ」などを挙げた。

この日、多治見市役所で行われた協定締結式では古川雅典市長と水野智恵子実行委員長(31)が調印。古川市長は「5回目を迎え討議会が市民のものになってきた。提言は実行していく」と話し、水野委員長は「市民一人一人が多治見のことを考え、まちづくりに参加して『たじみ』と語りだ。」(岡田敏史)

子どもテーマ、まちづくり提言

多治見で討議会、多彩な意見



「子どもも大人も一緒に育つまちづくり」で意見を出し合う参加者ら
=多治見市新町、市産業文化センター

住民台帳から無作為に抽出された市民が多治見市のまちづくりに提案したり、課題を話し合ったりする「たじみ」

009年から始まり、今年で5回目。これまでに討議会に参加した市民ボランティアが実行委員会をつくり、多治見青年会議所とともに運営する。無作為に選ばれた20歳以上の市民1600人に参加を依頼し、承諾した23人が参加した。

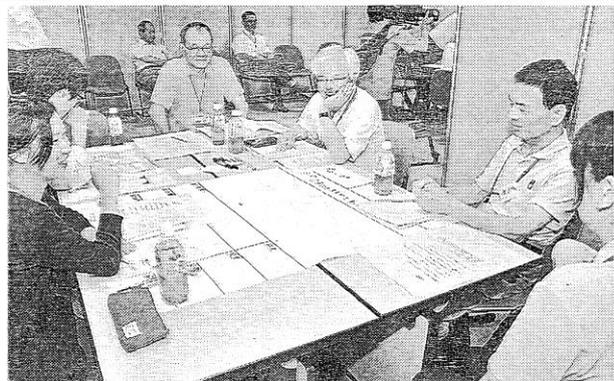
今年「子ども」がキーワードで、参加者は五つのグループに分かれ、「子どもと大人が上手に関わりあうには」「子どもに『たじみ』を好きになってもらうには」などで2日間わたって討論した。

参加の市民からは「子どもと大人が一緒に会議をする」「子どもと大人が安心して交流できる場を創設する」など具体的な意見が出された。

討議結果は、8月24日の中間報告で、意見を集約し報告書にまとめ、9月3日に中間報告書(田中敬史)を基に作成した実施報告書と提言書を市川雅典市長に提出する予定。

多治見 市民討議会始まる

地域づくりで意見交換



地域づくりを話し合う参加者たち=多治見市新町の市産業文化センターで

多治見市民が地域づくりを話し合う「Home of Tajimi」

この日は市民23人が5班に分かれて、「子どもと大人が上手に関わりあうには」をテーマに討論。「老人ホーム訪問で触れ合いの場が用意できないか」「イベントやラジオ体操といった関わる行事が欲しい」などと提案した。

七日は子どもが安心して暮らせる地域や、地元愛

「多治見基本台帳から無作為に選ばれた20歳以上の市民が二日間、テーマに沿って意見を交わし、市に提言する。二〇〇九年から毎年開かれていた。

「この日は市民23人が5班に分かれて、「子どもと大人が上手に関わりあうには」をテーマに討論。「老人ホーム訪問で触れ合いの場が用意できないか」「イベントやラジオ体操といった関わる行事が欲しい」などと提案した。

七日は子どもが安心して暮らせる地域や、地元愛

を育む方法について話し合う。内容は提言書にまとめ、九月二日に市へ提出する。

25日(谷口大河)

「日本一住みやすいまち」に

毎日 11:25/4

7月に多治見市で行われた市民討議会2013の実行委員会メンバーが3日、同市役所を訪れ、討議会の成果をまとめた提言書を古川雅典市長に手渡した。提言書は「日本一住みやすいまち」をテーマにしており、市は街づくりの施策に反映させる方針だ。

市民討議会は、市民の声を市政に反映させるために市や青年会議所などが2009年度から実施している市民参加型事業。無作為に抽出した20歳以上の市民1600人に参加を呼びかけ、承諾した34人のうち23人が参加。子どもと大人が上手に

7月の市民討議まとめ提言



市民討議会の提言を古川市長に手渡す水野委員長（右から2人目）ら＝多治見市役所で

関わり合うには▽子どもが安心して生活できる多治見を好きになる地域にするには▽子どもも健康に育てるためにも

多治見市長が政策化約束

めには「四つをテーマに2日間話し合い、テーマごとに提言をまとめた。

水野智恵子実行委員長は「私たちの街は私たちが作る。これからの多治見を支えていく子どもたちと一緒に住みやすい街を作ってください」と話し、提言書を手渡した。提言書を受け取った古川市長は「多治見には素晴らしい財産があり子どもポランティアを育成して魅力をアピールするなどの提言は二重丸。さっそく関係部局で検討して政策化し、来年の討議会に報告できるように取り組む」と約束した。【小林哲夫】

地域づくり要望 15件市長に提言

たじみ市民討議会



雅典市長宛に提言書を手渡す水野智恵子委員長（右から2人目）ら＝多治見市役所で

多治見市民が地域づくりに関して話し合う「たじみ市民討議会」は3日、提言書を古川雅典市長に渡した。提言書は「日本一住みやすいまち」と題され、要望十五件をまとめた。子ども観光ボランティアやお年寄りが得意分野を子どもに教える仕組みづくり、自

多治見市民が地域づくりに関して話し合う「たじみ市民討議会」は3日、提言書を古川雅典市長に渡した。提言書は「日本一住みやすいまち」と題され、要望十五件をまとめた。子ども観光ボランティアやお年寄りが得意分野を子どもに教える仕組みづくり、自

多治見市民が地域づくりに関して話し合う「たじみ市民討議会」は3日、提言書を古川雅典市長に渡した。提言書は「日本一住みやすいまち」と題され、要望十五件をまとめた。子ども観光ボランティアやお年寄りが得意分野を子どもに教える仕組みづくり、自

転車専用道路や街路灯の整備、危険力所マップや防犯ブザーの配布などを求めている。

水野智恵子委員長（三）＝大畑町＝ら八人が市役所を訪問。古川市長は「提言を聞きっぱなしにしないが、皆さんも言いっぱなしにしないよう協力いただきたい」と述べた。

討議会は二〇九年度からスタート。住民台帳から二十歳以上の千六百人を無作為に抽出し、参加を依頼。会合を経て提言書を毎年二十一～六十代の二十三人が七月六、七日に話し合った。



協定書締結式（5月14日）



たじみ市民討議会1日目（7月6日）受付



実行委員長あいさつ



(社)多治見青年会議所理事長あいさつ



古川雅典市長あいさつ



進め方などの説明



討議テーマ1の情報提供（1日目）



討議テーマ2の情報提供（2日目）



討議テーマ3の情報提供（2日目）



討議テーマ4の情報提供（2日目）



討議テーマ1の討議（7月6日・1日目）



討議テーマ1の発表・投票



討議テーマ2の討議・発表（7月7日・2日目）



討議テーマ2の発表・投票





討議テーマ3の討議



討議テーマ3の発表・投票



討議テーマ4の討議・発表



討議テーマ4の発表・投票



2日間の討議を終えた参加者の感想



2日間の討議を終えた参加者の感想



今後のスケジュールなどの説明



多治見市企画部長閉会あいさつ



実行委員長閉会あいさつ



2日目の討議を終えて解散する参加者



2日目の討議を終えて解散する参加者



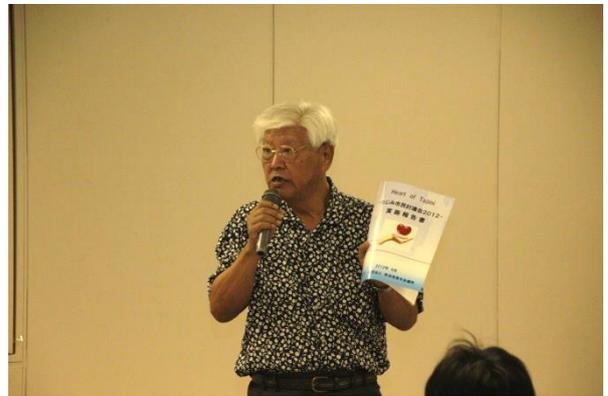
討議会を終えてホッとする実行委員会



中間報告会（8月24日）



提言書（案）を読み上げる実行委員長



まとめた経緯を説明する竹本副委員長



提言書を古川市長へ手渡す実行委員会



